

取組概要

■事業概要

弊社は、保有のインク開発力を用いて、油性・水性マーカー類、修正ペン、化粧品（主にネイル）の製造販売を事業展開している。

■導入前

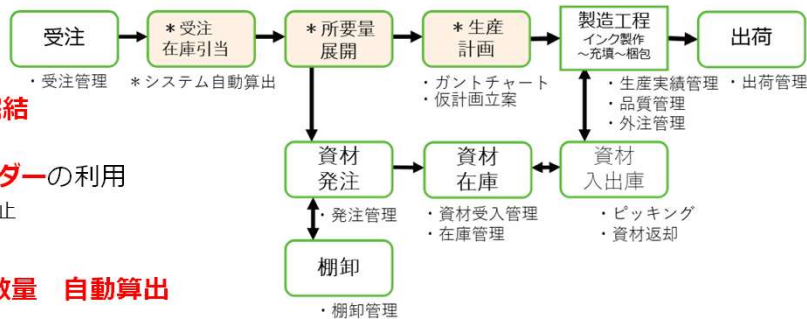
これまで弊社では、「ロータスアプローチ」を用いた基幹システムを運用してきたが、全製造データの入力には、専任担当者が必要だった。又、製造管理は帳票を中心とした運用であり、在庫管理についても現物確認に依存している状況だった。さらに、モノの流れに対する統制も十分とは言えず、運用の多くが担当者の判断に委ねられていた。加えて、間接部門においても、同一データを複数のシステムへ二重・三重に入力する必要があり、業務の非効率性が常態化していた。このような人手依存型の管理体制は、将来的に限界を迎えることが懸念されたため、新たな基幹システムの導入を決定した。

■導入システムの狙い目

①一元化 ②見える化 ③作業改善 ④ペーパーレス化 ⑤リアルタイム化

■導入システムの概要

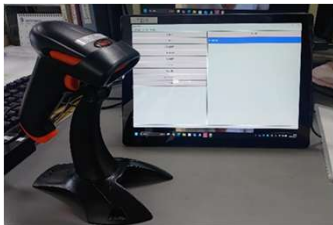
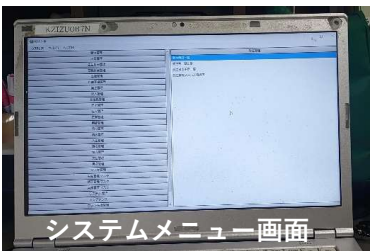
●基幹システム構成図



【システム特徴】

- ・製造管理全てが**1つのシステムで完結**
- ・タブレット（**2IN1PC**）・**QRリーダー**の利用
○どこでも直接入力できる⇒メモや帳票の廃止
- ・受注入力⇒**在庫自動引当**
⇒**仮生産計画・必要資材数量 自動算出**
- ・**リアルタイム**で実績を把握できる。

■基幹システム導入後の状況



机でも、倉庫でも、どの現場でも直接入力できる。

得られた効果・今後の課題

●効果

1）定量効果

削減項目	削減時間/月
アプローチ実績入力廃止	145H
間接部門システム2重・3重の同一入力廃止	80H
当日生産の実績集計（成果物当たりの廃止）	80H
検査記録の2重メモ廃止	46H
外注計画立案・伝票処理簡素化	27H
インク原料物当たり工数削減	6H
合計	384H

2）定性効果

- ①導入に向け、4か月間週1回全社員で勉強会を重ねた結果、導入がスムーズにできた。又、リアルタイムに実績がわかり、状況に応じ、細かく指示が出せるようになった。

●今後の課題

- 1）使い易さを追求し、今以上に使えるシステムを構築する。
- 2）当初のシステムの目的であったペーパーレス化の推進完全ペーパーレス化を目指す。
- 3）各部門が、新システムを利用した業務の仕組み化を進め、管理ツールとして確立していくこと。

【活用事業】

令和6年度

デジタル導入モデル支援事業補助金

企業概要

株式会社 カズキ高分子

設立：2003年（平成15年）10月
資本金：1,000万円
従業員：43名
所在地：島根県出雲市長浜町849-4

- マーカーの製造・化粧品の製造
PVCペレットの製造